



第 57 回全日本トランポリン競技選手権大会  
及び、全日本選手権大会 予選会について  
(10/30-11/1 三重県四日市市)

“全日本トランポリン競技選手権大会、及び予選会は、選手の育成・競技力向上のため、安全に十分配慮した上で開催する方向で進める。ただし、今後の状況により、第一案が難しいと判断した場合には第二案、それでも難しい状況であれば、中止とする。開催可否等については、「体操イベント実施に向けた感染予防ガイドライン」のもと判断する”

予選会 第一案

- 9月18日(金)～20日(日) 上越市立上越体操場(ジム・リーナ)にて予選会を行う
- JGA強化指定選手(SA、S、Aランク所有選手)はシードされ(予選会なしで出場権が与えられる)、残りの枠が定員となる65名に達するまでランキング上位者を選出する(リザーブは男女5名ずつ選出)
- 予選会参加資格
  - 2020年12月31日現在で13才以上
  - 日本体操協会に選手登録が完了している者
  - 2017年度以降の大会(全日本選手権、全日本年齢別大会、国際川崎ジャパンオープン(マスターズ除く)、全国高等学校選手権、全日本学生選手権、全日本ジュニア選手権、全日本社会人選手権、東日本・西日本選手権)にて以下の点数以上の実績がある選手

男子: 47.500 以上
女子: 45.000 以上

- 上記予選会の自由演技得点はその選手のランキング得点となる。最大2回まで試技のチャンスを与える。ただし、2回目の試技を申請した場合は1回目の点数は無効となる。
- ビデオ撮影禁止
- 予選会は、最小限の選手団での実施を目指す(無観客開催)

## 予選会 第二案

第一案の予選会が開催出来ない状態になった場合は、以下の手順により、男女それぞれ **32名**の選手に出場権を与える。

- 感染拡大への配慮も考え、競技は男女個人競技の**予選(32名)、準決勝(16名)、決勝(8名)**のみとする。シンクロ競技・団体競技は行わない
- 全日本選手権大会出場選手選考方法
  - JGA強化指定選手（SA、S、A ランク所有選手）はシードされる。
  - 2019 年度開催大会のうち、下記の大会実績（第 2 自由演技もしくは決勝の得点）の上位者から選出し、男女 32 名の選手に本戦出場権を与える

①全日本選手権（全選手対象）

②国際ジャパンオープン（マスターズ部門を除く・全選手対象）

③全日本社会人選手権（社会人）

④全日本学生選手権（大学生）

⑤全国高等学校選手権（高校生）

⑥全日本ジュニア選手権（中学生）

※ ⑥については、昨年度 11-12 才に出場した選手で、今年度中学生になっている選手も対象とする。成績は 11-12 才の第 2 自由演技もしくは決勝の得点を記載のこと

※ 申込時に大会実績を明記し、確認作業後にランキングを作成 → JGA 強化指定選手を含めた上位 32 名の選手に出場権を与える

## 注意事項

- 予選会が開催されたとしても、コロナウィルス感染症拡大の状況により全日本選手権の内容が変更される
  - 規模縮小が必要な場合はシンクロナイズド競技を取りやめ、個人競技のみ（団体競技は個人予選得点による算出にて実施）実施する
  - 「体操イベント実施に向けた感染予防ガイドライン」に基づき中止になる可能性あり